

まちの日記帳



子育ての知識を学び合う 「親子ふれあい学びカフェ」

2/20

乳幼児とその保護者を対象とした教室「親子ふれあい学びカフェ」がB & G海洋センターで行われ、15名が参加しました。

札幌国際大学人文学部准教授の増山由香里氏を講師に迎え、「心が育つ親子の楽しいあそび」をテーマに、子育てに関する知識を学び合いました。

講師から絵本の読み聞かせやわらべうた、子どもに対する適切な関わり方などを学んだほか、育児の悩みや相談もあり、参加者たちは充実した時間を過ごしていました。



町の健康づくりを考える 「積丹町健康推進サポーター育成事業」報告会

2/26

町の健康づくりの役割を担う「健康推進サポーター育成事業」報告会が総合文化センターで行われました。

これは、地方創生事業の一環として今年度から行われている事業で、東邦大学医学部助教の今村晴彦氏（東京都）を招き、「積丹町の資源を活かした健康づくりの可能性」と題した報告が行われました。

今村氏からは、町内関係者からのヒアリング調査、地域資源調査の報告やこれら資源を活かした次年度以降の取組の方向性の提案などについての説明がありました。また、心疾患や膵臓がんなど、積丹町特有の疾病の説明もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。



元気なお年寄りが交流 老人クラブ連合会交流会

2/28

積丹町老人クラブ連合会交流会が総合文化センターで行われ、町内6地区の老人クラブから85名が集まりました。

午前中は、マジシャンのミスター西垣氏による「マジック&物忘れ・体力の衰えから来る各種事故防止対策」と題した講演が行われ、同氏がさまざまな道具を使ったマジックを披露し会場を沸かせたほか、警察官だった経験を活かして、詐欺等の防止対策を参加者の皆さんに伝えました。

午後は、美国宝寿会と野塚悠ゆう会の皆さんによる歌や舞踊が披露され、歓声が飛び交う賑やかな交流会となりました。



フォークシンガーの唄と語りを堪能 積丹町女性団体連絡協議会「交流会」

3/2

積丹町女性団体連絡協議会（魚屋友子会長）の交流会が総合文化センターで行われ、約30名の会員が参加しました。

講師に、辻村音楽事務所の辻村達生氏（余市町出身）を迎え、『辻村達生トーク&ライブ ～悩まなくていいことは悩まない～』と題した唄語りが行われました。

唄語りでは、辻村氏が作詞作曲した曲やリクエストとして「案山子」、「なごり雪」などの曲も披露しました。参加者の中には涙を流す人もいるなど、辻村氏の歌声を聴き入っていました。



スポーツの素晴らしさを伝える 町民文化講演会

3/9

スポーツ文化や2020年東京オリンピック・パラリンピックへの理解を深めることを目的とした「町民文化講演会」が総合文化センターで行われ、約40名が訪れました。

講師に、スポーツ報道の第一線で活躍してきた元TBSアナウンサー松下賢次氏を迎え、現場でしか体験することができないオリンピックの歴史や裏話、感動秘話などについて講演を行いました。

同氏が語るオリンピックでの出来事やさまざまなスポーツ選手の面白話に、訪れた方々は、時より笑顔を見せながら聞き入っていました。



積丹の自然を楽しむ 積丹大滝雪上沢歩き

3/11

山岳愛好会（橋場政男会長）が主催する「積丹大滝雪上沢歩き」が行われ、同会員4名に加え町地域おこし協力隊、小学生等14名で大滝を目指しました。

雪が降り積もった川を渡りながら、1時間40分ほどで大滝に到着。普段は見ることもできない凍りついた滝を眺めながら、写真を撮ったり、沢の坂を利用して尻すべりをするなど、この時期にしかできない遊びを楽しみお姿がありました。また、参加者全員で食事を楽しみ、早春のひとときを過ごしました。

